

第6章 施設間の連携と各施設の方向性

文化芸術の振興において、大きな役割を果たす市内の文化施設について、その方向性を明確にし、施設間の連携を検討します。

1 文化創造拠点ネットワーク

(1) 基本的な考え方

複合型文化施設の整備により、今後の市の文化芸術振興については、複合型文化施設を中心とした文化創造の場や機会の充実を進め、既存の文化施設と相互に関連付けた事業を展開していくこととします。

こうした新たな文化施設の関連性を「文化創造拠点ネットワーク」と呼び、このネットワークを通じて、東海市全体における文化振興を図ることとします。複合型文化施設の持つ企画力を生かして、既存施設との相乗効果が得られるような連携・協働を進めます。

(2) 既存施設の活性化

市内には、これまで市の中心的な文化活動拠点としての役割を担ってきた文化センターや青少年のための文化芸術活動を振興してきた青少年センターなどがあります。

これらの施設については、複合型文化施設が整備されることによって、今まで以上にその存在意義が高まるよう、その役割をあらためて位置付けるとともに、その特性をより明確にする必要があります。その上で、複合型文化施設との連携や地域との協働などを通じて、効果的な活用を図ります。

(3) 文化創造拠点ネットワークによる情報発信力の強化

文化創造拠点ネットワークを活用し、発信力の強化や事業間の相乗効果を図るために、積極的に情報交換を行います。

複合型文化施設は、市の文化創造の情報発信拠点として、複合型文化施設及び既存の文化施設における催しをはじめ、市内で行われる文化芸術活動やイベント等の情報を総合的に発信します。

既存の文化施設は、文化創造拠点ネットワークを構成する施設として、複合型文化施設の情報発信を補完しながら、複合型文化施設及び既存の文化施設における催しについて、掲示板やチラシ等で情報発信を行います。また、複合型文化施設の企画に連動した事業等の開催を相互に連携・協働しながら推進します。

2 施設ごとの考え方

(1) 文化センター

文化センターは、地域に密着した市民の活動の場としてこれまで利用されており、514席のホールを併設した生涯学習施設として、今後もアマチュア団体の活動や発表の場、実演芸術団体の公演のほか、講演会などのニーズがあると考えます。

また、複合型文化施設の開館を契機に、祭りや山車の文化を持つ横須賀地区に立地する文化センターの特性を生かした施設づくりを進めることで、新たに東海市の文化創造の一翼を担うことが考えられます。

新しい文化創造を発信する複合型文化施設が文化芸術に対する関心への起爆剤となることで、市民の文化芸術活動が活性化し、地域文化を伝える身近な活動の場である文化センターの発展的な施設づくりへとつながると考えます。

連携・協働例

○複合型文化施設公演と連携したホール利用（複合型文化施設を利用した公演を行う際の練習場所として、優先的にホールでの練習を行うことができる仕組みをつくることで、利用率の向上と利用者の練習場所確保を目的とした効果的な連携を図る。）

(2) 青少年センター

青少年センターは、次代を担う若い世代を対象に、文化芸術が持つ力を生かしたひとづくりを行っており、市内外で高く評価されている嚶鳴四座など、ここでの活動を機に広く活躍する人材を輩出しています。

今後は、複合型文化施設の小・中学生を対象とした「出会いの教室」や「招待コンサート」など、早い時期から文化芸術の体験機会をつくり、若い世代の文化創造への欲求を促し、実際の活動へとつなげていくことが大切になります。

そのために、青少年センターが担ってきた若い世代の創造活動を、複合型文化施設や文化センターなどに広げながら、より活動的に展開していくことが求められていると考えます。さらに、発表などの機会を通じて、市内において若い世代が文化芸術に取り組むような機運の拡大を図る必要があります。

連携・協働例

○複合型文化施設などにおいて嚶鳴四座の活動の場を広げる
○青少年グループの育成（青少年センターでのノウハウを用い、嚶鳴四座のような創作活動のほかに、青少年育成を目的とした支援活動を協働で実施する。）

(3) 中央図書館

中央図書館は、文化芸術に関するさまざまな資料を収蔵しており、市民が身近に文化芸術に触れるとともに、文化芸術に関する情報や知識を得ることができる場としての役割を担っています。

今後は、複合型文化施設における企画と連携した図書の企画展示により、複合型文化施設での事業の前後に関連図書を読んでもらうことで、知識や興味を深め、事業への参加を促す効果のほか、学びへの意欲から図書館への関心が高まることが期待できます。

また、図書館のイベントである「お話友の会フェスティバル」を複合型文化施設で開催したり、読書の途中にミニ・コンサートを楽しむ企画を図書館で開催したりするなど、相互作用が得られる企画を双方で開催することを考えます。

連携・協働例

- 複合型文化施設の企画と連動した図書や資料の出展（中央図書館から複合型文化施設、公民館・市民館などへ巡回）
- 複合型文化施設における図書の貸出・返却
- 複合型文化施設との公募展共同開催（物語に関連した作品の公募を実施）

(4) 平洲記念館・郷土資料館

平洲記念館・郷土資料館は、郷土の偉人で江戸時代の儒学者細井平洲の記念館と本市の考古資料や歴史資料を展示する郷土資料館を併設し、市民に地域への誇りを醸成する施設として位置付けられます。複合型文化施設には、この施設と関連した視覚効果を多用した先進的な展示スペースを持つ「嚶鳴広場」を設けることから、これまで以上に細井平洲に関する見聞について来訪者に働きかけることにより、平洲記念館への関心や学習の連鎖が広がると考えます。複合型文化施設と相互に連携しながら、本市の郷土文化についての情報発信を強化していくことが必要になります。

また、複合型文化施設では嚶鳴広場を歴史全般への関心を喚起する場として機能させるため、広い学習スペース、パソコンを確保します。これにより、歴史愛好家を中心とした交流の場となり、その輪が広がり、平洲記念館・郷土記念館はもとより、市内の歴史的建造物などにも関心が集まると考えます。

連携・協働例

- 複合型文化施設（嚶鳴広場）と連携した案内や展示等のサービスの充実
- 複合型文化施設における平洲記念館・郷土資料館所蔵の歴史資料等の出展（平洲記念館・郷土資料館の紹介）
- 複合型文化施設の企画と連動した各種展示、セミナー等の開催

(5) 公民館・市民館

市内には、市民の自主的な文化芸術活動に活用されている施設として、中央公民館機能を有する上野公民館と文化センターのほか、市民の身近な地域に整備された地区の公民館・市民館があります。こうした施設は、主にさまざまな活動の練習や創作の場として利用されています。

複合型文化施設が整備されることで文化創造の気運が高まり、複合型文化施設への期待も大きくなると予想されますが、公民館・市民館が地域コミュニティにおいて重要な役割を果たすことには変わりはありません。公民館・市民館が文化創造拠点ネットワークに組み込まれ、複合型文化施設のアウトリーチ活動や他の文化施設と協働した文化芸術事業が展開されることで、地域の人が集まり、文化芸術を通じた交流が生まれ、さらに地域コミュニティにおけるつながりが強まることが理想的であると考えます。

連携・協働例

- 複合型文化施設の企画と連動した図書や資料の出展（中央図書館から複合型文化施設、公民館・市民館などへ巡回）
- 複合型文化施設の企画と連動した各種展示、セミナー等の開催

(6) 発表の場やギャラリーとして利用されるその他の施設やスペース

上記の他にも、市内には、市民の文化芸術活動の場や発表の場として、その他の公共施設における多目的ホールやギャラリースペース、屋外ステージやオープンスペースなどがあります。

このようなスペースは、文化芸術にあまり関心がない人でも訪れる可能性が高い場であることから、アウトリーチ活動の場として、文化芸術の枝葉を広げる機能を担っていくことができます。

3 文化創造拠点ネットワーク概念図

